



村のために

私たちができることを

皆さんは「地域おこし協力隊」を知っていますか。都市部から過疎地域へ移住し、地域活性化のために活動している人たちのことです。

東秩父村にも素晴らしい伝統文化や自然環境などを生かしながら、村の抱える課題を捉え課題解決に取り組む方がいます。

この度、4月より2名の方に地域おこし協力隊員として活動していただくこととなりました。本特集では、新！地域おこし協力隊の方々についてご紹介します。



ふくしま ちあきさん
福島 千晶さん

私は東秩父村で生まれ育ち、都内での生活を経て、改めて自然や人の温かさの大切さを実感し、地域に恩返しをしたいという思いから協力隊に着任しました。

これからは、農業に取り組みながら特産品づくりに挑戦していく次第です。

まだまだ学ぶことばかりですが、地域の力になれるよう精一杯励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします

新規2名の

★地域おこし協力隊の活動

新たに委嘱した隊員は、村内に点在する遊休農地の管理・利活用を担う人材を確保するため、遊休農地の発見、地権者との調整および管理の実施活動を行い、これらの取組を通じて、任期終了後の村内就農へ確実につなげることを目的としています。



とばし ほうと
土橋 春斗さん

静岡県富士宮市白糸、富士山のふもとで生まれ育ちました。大学卒業後、さまざまな経験を経て、自然の中で暮らす豊かさを感じ、東秩父村の地域おこし協力隊として活動していくことを決めました。

今後は遊休農地の活用はもちろん、村の魅力発信や若い人材の誘致に取り組み、地域に貢献してまいります。そのためにもまずは、皆さんと仲良くお話がしたいので見かけたら話しかけてください。よろしくお願いいたします！！



令和8年度も
頑張ります

令和7年4月より地域おこし協力隊員として活動している麻生義彰氏は、令和8年度も引き続き空き家および移住促進に関する活動を継続いたします。